

本協会は、財団法人鉄道総合技術研究所により開発された剛壁面補強土工法を普及・発展させるために、ゼネコン・繊維メーカー・コンサル等が中心となって平成3年7月に発足しました。発足時の会員は63社、現在は74社であります。

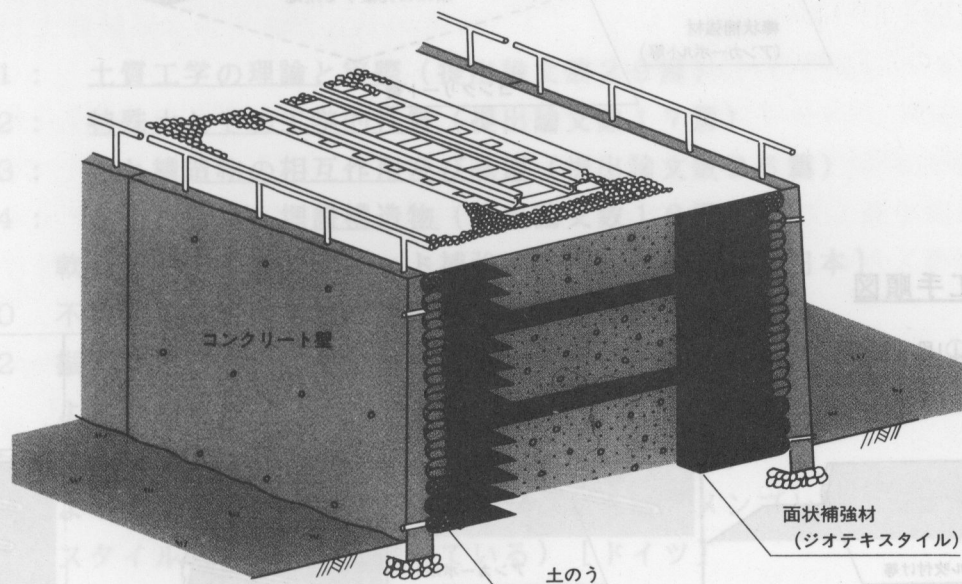
【工法の概要及び特長】

R R R工法は「補強盛土工法」と「既設盛土のり面の急勾配化工法」の二つの工法から構成されています。

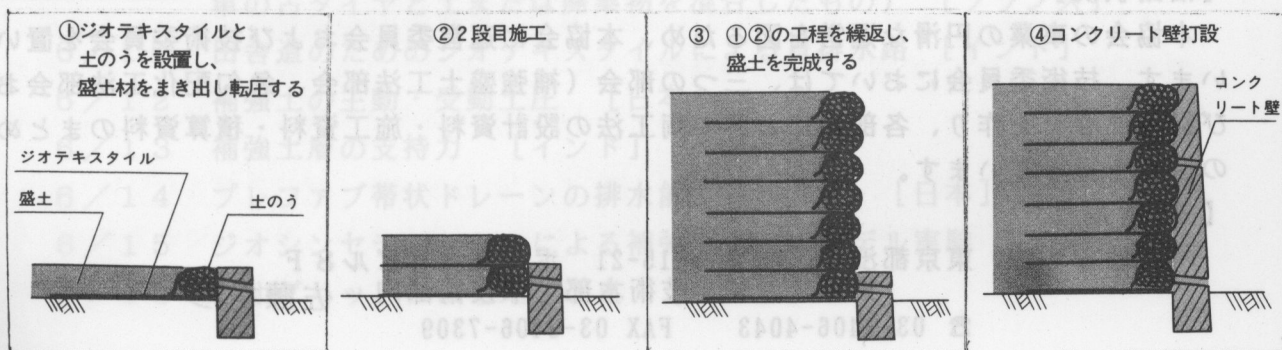
「補強盛土工法」は、面状補強材（ジオテキスタイル）と剛壁面を用いて、盛土のり面を鉛直に構築する工法です。その特長は、

- ①剛性の高い壁面を有しているため拘束効果が高く、完成後の変形を小さく抑えることができます。
- ②従来の鉄道盛土に比較し、用地が大幅に縮小できます。
- ③大型機械を用いないので、狭あいな場所でも施工できます。
- ④盛土材の適用範囲が広く、発生土も有効に利用できます。
- ⑤比較的短い補強材で済むため経済的です。

● 概 要 図



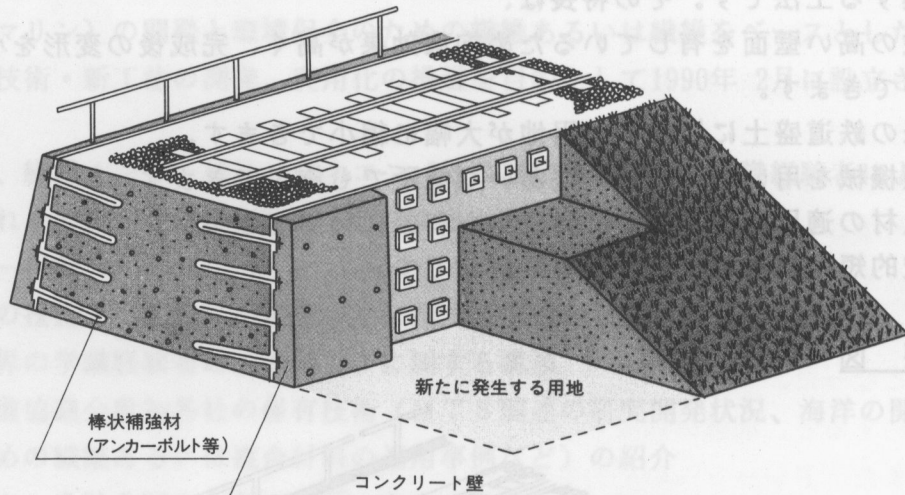
● 施工手順図



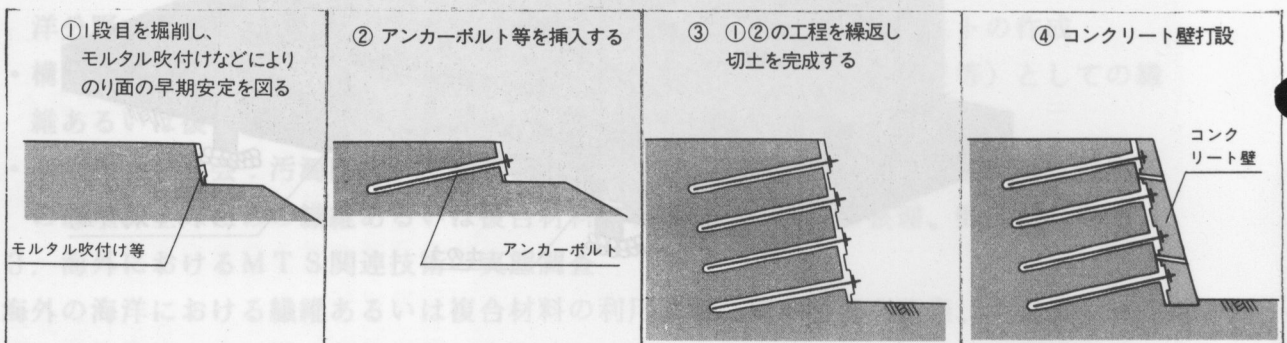
「既設盛土のり面の急勾配化工法」は、棒状補強材（アンカーボルト等）と剛壁面を用いて、既設盛土のり面を急勾配化する工法です。その特長は、

- ①剛性の高い壁面を有しているため拘束効果が高く、完成後の変形を小さく抑えることができます。
- ②既設盛土のり面を急勾配化することにより用地が新たに生み出され、土地の有効利用が図れます。
- ③営業線に与える影響を計測管理することにより、安全に施工できます。

### ●概要図



### ●施工手順図



### 【活動状況】

本協会の事業の円滑な運営を図るため、本協会に運営委員会および技術委員会を置いています。技術委員会においては、三つの部会（補強盛土工法部会、急勾配化工法部会および材料部会）を作り、各部会において両工法の設計資料・施工資料・積算資料のまとめ等の活動を行っています。

### 【事務局】

所在地：〒150 東京都渋谷区渋谷 1-15-21 ポーラ渋谷ビル 8F  
 東急建設(株)・技術本部土木技術部内 佐藤敏彦  
 ☎ 03-3406-4043 FAX 03-3406-7309